



いっぺいといっぱく Vol.45



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。
みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。
また、市HP【によぜがもん】もぜひご覧ください。
[市HPのトップページから「によぜがもん」をクリック。]



子どもを守るには

4月、市内の小・中学校で入学式が行われ、722人の新小学1年生、549人の新中学1年生が、不安と期待を胸に学校の門をくぐりました。

入学式の祝辞の中で、私は保護者のみなさんに次のことをお話ししました。

以前、埼玉県朝霞市で女子中学生が誘拐・監禁された事件がありました。犯人は誘拐の場として「田舎過ぎず、都会過ぎず」の場を選んだと言っていました。

長久手は、まさしくそうした場所です。お子様の安全を守るために、私たち大人が率先して、知らない人にもあいさつするようにお願いいたします。

ここ最近、子ども達の安全をめぐる、私たちのこれまでの常識では予想もできない、どうしたら子ども達を守るのか頭を抱え込んでしまうような事件が、日本各地で発生しています。

そうした影響からか、関西地方のあるマンションでは、総会で小学生の親から「知らない人にあいさつをされたら逃げるように教えているので、マンション内ではあいさつをしないように決めてください」と提案があり、「あいさつ禁止」になったという話を聞いたことがあります。

警察からは、犯罪者は顔を見られることを何よりも嫌うので、「おはようございます」「こんにちは」とあいさつをされると、その地域での犯行をあきらめると伺いました。あいさつをしないという選択ではなく、大人達が率先して、知らない人に対してこそ、あいさつをする必要があると私は思います。

本市では、毎朝、多くの見守りボランティアのみなさんが、登校途中の子ども達の安全を見守ってくださっています。きっと元気のない子には、「今日はどうしたの?」といった声掛けもしていただいていることでしょう。本当にありがたいことで、改めて感謝申し上げます。

もう、学校や行政、警察だけでは、子ども達の安全を守ることはできません。地域全体で、ご近所はもちろん、知らない人にもあいさつをすることでしか、私たちは子ども達の安全は守れないのかもしれない。

※安心メールに登録を!

市で把握した事件や不審者情報、災害情報、認知症の方の行方不明情報をメールで配信しています。登録は無料です(ただし、メールの受信にかかる通信料は、利用者の負担になります)。



児童とボランティアさんの登校の様子



表紙の写真もう一枚

ここ数年に比べ遅咲きだった今年の桜。立石池(岩作北山)では、満開のソメイヨシノが出迎えてくれました。あいにくの曇り空でしたが、時折晴れ間も見え、訪れていた家族連れは、お弁当を食べたり、お散歩をしたり、お花見を楽しんでいました。

